

**設定項目一覧・設定チェックシート[UNC-RP05(A)]**

れんら君はネットワーク設定、入出力設定を行って初めて正常にご使用することができます。  
ネットワーク設定は、必ず設定する必要がある項目やれんら君をご使用になられる接続環境や用途により、設定を変更する必要がある項目があります。

設定項目一覧より必要な項目を確認し、設定チェックシートに書き込むと便利です。

## 1 UNC-RP05 設定項目一覧

設定項目一覧です。必要な項目を確認の上、チェックシートに設定を書き込んでお手元に保存してください。

## れんら君設定項目一覧

通常のメール発信を行う場合							
SMTPサーバ認証タイプがPOP-before-SMTPの場合							
SMTPサーバ認証タイプがSMTP-AUTHおよび受信メールと同じ設定を使用するに☑がある場合							
SMTPサーバ認証タイプがSMTP-AUTHの場合							
マウントメールによりれんら君のコントロールを行う場合							
		項目名	出荷時設定値	項目説明			
a	b	c	d	e	IPアドレス	192.168.0.251	2-1
					サブネットマスク	255.255.255.0	
					デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
					プライマリDNSサーバIP	0.0.0.0	
					セカンダリDNSサーバIP	0.0.0.0	
			ユニット名		2-2		
			ユーザー名				
			パスワード				
			rootパスワード	root	2-3		
			SMTPサーバ				
			SMTPポート	25			
			SMTP認証タイプ	Normal SMTP			
			SMTPアカウント名				
			SMTPパスワード				
			送信リトライ間隔	30(秒)			
			送信リトライ回数	0(無限回)			
			POP3サーバ		2-4		
			POP3ポート	110			
			POP3認証タイプ	POP3			
			POP3アカウント名				
		POP3パスワード		2-5			
		POP3問合せ間隔	0(問合せしない)				
		返信用Fromアドレス		2-6			
		システム制御					
		異常復旧待機間隔	5(分)	2-7(a)			
		入力0注意判定時間	待ち時間なし				
		入力0警報1判定時間	設定しない				
		入力0警報2判定時間	設定しない				
		入力0復帰判定時間	待ち時間なし				
		入力0極性	Low				
		入力0出力パターン	出力しない	2-7(b)			
		入力1注意判定時間	待ち時間なし				
		入力1警報1判定時間	設定しない				
		入力1警報2判定時間	設定しない				
		入力1復帰判定時間	待ち時間なし				
		入力1極性	Low				
		入力1出力パターン	出力しない				

：必ず設定する必要がある項目です。

：接続環境や用途により、設定を変更する必要があります。

空欄：デフォルト値のまま、設定する必要はありません。

## 2 設定チェックシート

## 2-1 れんら君ネットワーク設定

## (1) IPアドレス

れんら君に割り当てる IP アドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

## (2) ネットマスク

れんら君を接続するネットワークのサブネットマスクを入力します。

(例) 255.255.255.0

サブネットマスクの設定範囲は

224.0.0.0～255.255.255.252 (3ビット～30ビット) までです。

0.0.0.0 を入力しますと自動的に 224.0.0.0 に変換されます。

## (3) デフォルトゲートウェイ

外部のネットワークに接続する場合にデフォルトゲートウェイ IP アドレスを入力します。

ルーター等により、インターネットに接続している場合に必要になります。

外部のネットワークと接続しない場合は、0.0.0.0 を設定します。または空白にします。

外部ネットワークに接続する

デフォルトゲートウェイ IP アドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

しない

0.0.0.0 入力します。または空白にします。

## (4) プライマリ DNS サーバ IP

プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

プライマリ DNS サーバを使用しない場合は、0.0.0.0 を入力します。または空白にします。

SMTP サーバ名または、POP3 サーバ名をドメイン名で指定する場合は、「プライマリ DNS サーバを使用する」を選択してください。

プライマリ DNS サーバを使用する

プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

しない

0.0.0.0 を入力します。または空白にします。

## (5) セカンダリ DNS サーバ IP

セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

セカンダリ DNS サーバを使用しない場合は、0.0.0.0 を入力します。または空白にします。

SMTP サーバ名または、POP3 サーバ名をドメイン名で指定する場合は、「セカンダリ DNS サーバを使用する」を選択してください。

セカンダリ DNS サーバを使用する

セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

(例) 192.168.0.251

しない

0.0.0.0 を入力します。または空白にします。

## 2-2 れんら君 ID 設定

## (1) エット名

れんら君識別用の名称を入力します。

半角英数文字で最大 16 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

#は使用できません。

複数台のれんら君を使用する場合は、個別の名称を設定するようにしてください。

(例)Renrakun

## (2) ユーザ名

れんら君ユーザ認証用のユーザ名を入力します。

半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

(例)RenrakunTEST01

## (3) パスワード

れんら君ユーザ認証用のパスワード名を入力します。

半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

(例)RenrakunTEST01

## (4) root パスワード

れんら君設定用のパスワードを入力します。

半角英数文字で最大 15 文字まで入力できます。

アルファベットの大文字・小文字を区別します。

(例)root

## 2-3 Mail 送信設定

## (1) SMTP サーバ

プロバイダから取得した SMTP サーバ (メール送信用サーバ) の名称、または、IP アドレスを入力します。

SMTP サーバ の名称が、ドメイン名により指定される場合は、11-2-1 (4), (5) にて DNS サーバ の設定が必要になります。

半角文字で最大 40 文字まで入力できます。

ドメイン名指定

(例) smtp.example.com

▶ 11-2-1 (4), (5) DNS 設定を行ってください。

IP アドレス指定

(例) 192.168.0.251

## (2) SMTP ポート

プロバイダから取得した、SMTP サーバ のポート番号を入力します。

通常は、25 (デフォルト値) です。

(例) 25

## (3) SMTP 認証タイプ

プロバイダから取得した、SMTP サーバ への認証方法を入力します。

通常は、Normal SMTP (デフォルト値) です。

SMTP サーバ の認証方法が、POP before SMTP に設定されている場合は、11-2-4 Mail 受信設定を行ってください。

SMTP AUTH 以外に設定されている場合は、(4), (5) の設定が不要です。

SMTP AUTH に設定されている場合は、(4), (5) の設定を行ってください。

ただし、SMTP アカウント名および SMTP パスワード が受信メールと同じ設定で使用する場合は、「受信メールと同じ設定を使用する」に ☑ を入れてください。その場合は、(4), (5) の設定が不要ですが、11-2-4 Mail 受信設定を行ってください。

Normal SMTP

POP before SMTP

▶ 11-2-4 Mail 受信設定を行ってください。

SMTP AUTH

## (4) SMTP アカウント名

(3)で SMTP AUTH に設定されており、「受信メールと同じ設定を使用する」にチェックが入っていない場合のみ設定します。

プロバイダから取得した、メール送信用アカウントを入力します。

半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

(例)SMTPusername

## (5) SMTP パスワード

(3)で SMTP AUTH に設定されており、「受信メールと同じ設定を使用する」にチェックが入っていない場合のみ設定します。

メール送信用パスワードを入力します。

半角文字で最大 19 文字まで入力できます。

(例)SMTPuserpassword

## (6) 送信リトライ間隔

メール送信に失敗した場合の、送信リトライするまでの待機時間を秒単位で入力します。

0 に設定すると、メールの送信リトライを行いません。

(例) 30(秒)

## (7) 送信リトライ回数

メール送信に失敗した場合に送信リトライする回数の上限を入力します。

リトライ回数が上限を超えれば、一定時間待機後にメールの再送信を行います。

1 以上が設定されている場合は、11-2-6 (1)の設定を行ってください。

0 に設定すると、無限にリトライを行います。

(例) 10(回)

## 2-4 Mail 受信設定

## (1) POP3 サーバ

プロバイダから取得した、POP3サーバ（メール受信用サーバ）の名称、または、IPアドレスのどちらかを入力します。

POP3サーバの名称が、ドメイン名により指定される場合は、DNSサーバの設定が必要になります。

半角文字で最大 40 文字まで入力できます。

ドメイン名指定

(例) pop.example.com

▶ 11-2-1 (4), (5)DNS 設定を行ってください。

IP アドレス指定

(例) 192.168.0.251

## (2) POP3 ポート

プロバイダから取得した、POP3サーバのポート番号を入力します。

通常は、110(デフォルト値)です。

(例)110

## (3) POP3 認証タイプ

プロバイダから取得した、POP3サーバへの認証方法を入力します。

通常は、POP3(デフォルト値)です。

POP3

APOP

## (4) POP3 アカウント名

プロバイダから取得した、メール受信用アカウントを入力します。

半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

(例)MAILusername

## (5) POP3 パスワード

メール受信用パスワードを入力します。

半角文字で最大 19 文字まで入力できます。

(例)MAILuserpassword



## 2-5 コマンドメール設定

## (1) POP3 問合せ間隔

れんら君がコマンドメールの受信を行う間隔を分単位で設定します。  
設定範囲は、0～65500(分)です。  
0に設定するとメールコマンド受信を行いません。

## コマンドメール機能を使用する

コマンドメール受信問合せ間隔を分単位で設定します。

(例)30(分)

## 使用しない

0に設定してください。

## (2) 返信用 From アドレス

コマンドメールの実行結果を知らせる応答メールに入力する From アドレスを入力します。  
通常は、受信に使用したメールアドレスを入力します。  
半角文字で最大 39 文字まで入力できます。

(例) username@example.com

## 2-6 システム設定

## (1) 異常復旧待機間隔

メール送信異常が発生したときに再送信する為に待機時間を分単位で入力します。

設定範囲は、0～60(分)です。

0に設定すると待機後にメールを再送信しません。

(例) 5(分)

## (2) システム制御

れんら君の通信に関する設定を行います。

れんら君マップ<sup>®</sup> 応答禁止

れんら君マップ<sup>®</sup> の応答を禁止します。

自動設定モード<sup>®</sup> 禁止

れんら君の設定内容を書き込む前に遠隔操作で再起動をする機能を禁止します。

## 2-7 入力要因設定

## (a)入力0 要因設定

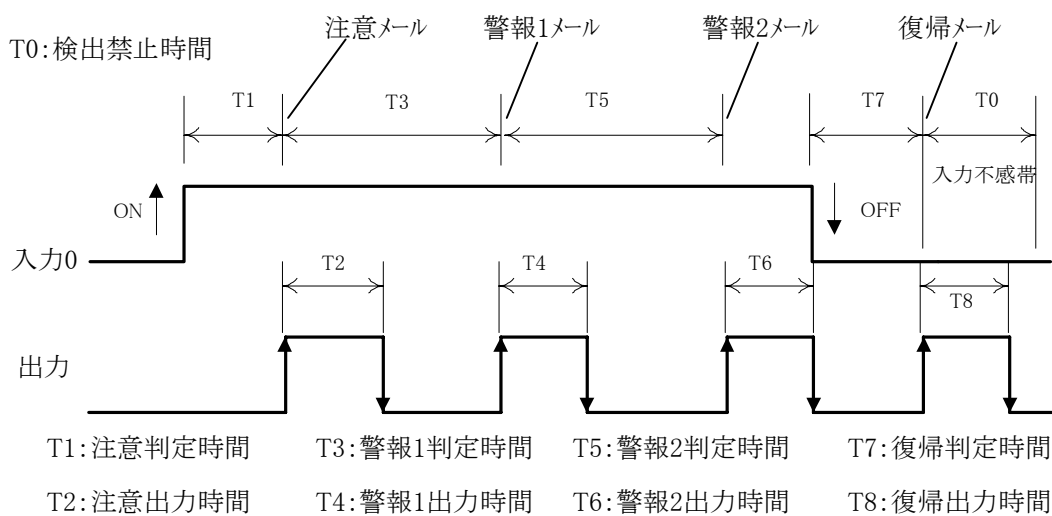
入力0の判定時間，経過時間の設定を行います。

判定時間，経過時間ともに、設定範囲は0.0秒～59.9秒(ミリ秒単位)、1分00秒～59分59秒(秒単位)、1時間00分～23時間59分(分単位)、1日00時間～45日12時間(時間単位)のいずれかを選択します。

判定時間を0.0秒に設定すると、入力検出後、直ちにメールを送信します。

経過時間を0.0秒に設定し通報用のメールが登録されている場合は、入力検出後、直ちに登録されているメールを送信します。

復帰判定時間経過後の入力の検出禁止時間を設定します。



## (1) 入力0 極性設定

入力0の検出極性を設定します。

Low(立下り検出,ノーマルオープン接続)

High(立ち上がり検出,ノーマルクローズ接続)

## (2) 入力0 検出禁止時間設定

入力0の検出禁止時間(T0)を設定します。

設定しない

0.1秒～59.9秒

1分00秒～59分59秒

1時間00分～23時間59分

1日00時間～45日12時間

## ( 3 ) 入力 0 注意判定時間設定

入力 0 の注意判定時間 ( T 1 ) を設定します。

設定しない  
 待ち時間なし  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒  
 1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分  
 1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 4 ) 入力 0 注意出力設定

入力 0 の注意出力を設定します。

出力なし  
 出力

## ( 5 ) 入力 0 注意出力時間設定

入力 0 の注意出力時間 ( T 2 ) を設定します。

警報解除まで  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒       .  秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒       分  秒  
 1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分       時間  分

## ( 6 ) 入力 0 警報 1 判定時間設定

入力 0 の警報 1 判定時間 ( T 3 ) を設定します。

設定しない  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒  
 1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分  
 1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 7 ) 入力 0 警報 1 出力設定

入力 0 の警報 1 出力を設定します。

出力なし  
 出力

## ( 8 ) 入力 0 警報 1 出力時間設定

入力 0 の警報 1 出力時間 ( T 4 ) を設定します。

警報解除まで  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒       .  秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒       分  秒  
 1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分       時間  分

## ( 9 ) 入力 0 警報 2 判定時間設定

入力 0 の警報 2 判定時間 ( T 5 ) を設定します。

設定しない

0.1 秒 ~ 59.9 秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分

1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 1 0 ) 入力 0 警報 2 出力設定

入力 0 の警報 2 出力を設定します。

出力なし

出力

## ( 1 1 ) 入力 0 警報 2 出力時間設定

入力 0 の警報 2 出力時間 ( T 6 ) を設定します。

警報解除まで

0.1 秒 ~ 59.9 秒

.秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

分秒

1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分

時間分

## ( 1 2 ) 入力 0 復帰定時間設定

入力 0 の復帰判定時間 ( T 7 ) を設定します。

待ち時間なし

0.1 秒 ~ 59.9 秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分

1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 1 3 ) 入力 0 復帰出力設定

入力 0 の復帰出力を設定します。

出力なし

出力

## ( 1 4 ) 入力 0 復帰出力時間設定

入力 0 の復帰出力時間 ( T 8 ) を設定します。

0.1 秒 ~ 59.9 秒

.秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

分秒

1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分

時間分

## (b)入力 1 通報時間設定

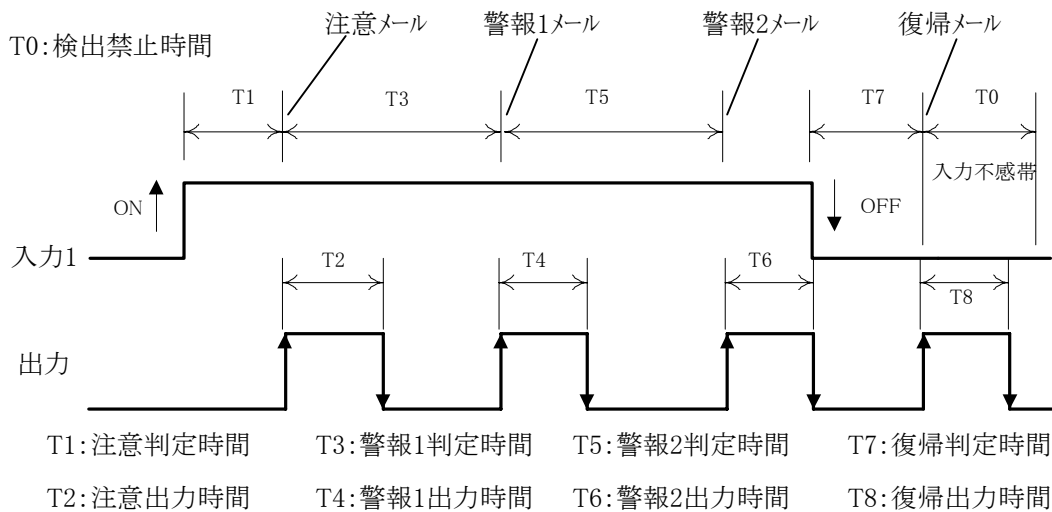
入力 1 の判定時間，経過時間の設定を行います。

判定時間，経過時間ともに、設定範囲は 0.0 秒～59.9 秒(ミリ秒単位)、1 分 00 秒～59 分 59 秒(秒単位)、1 時間 00 分～23 時間 59 分(分単位)、1 日 00 時間～45 日 12 時間(時間単位)のいずれかを選択します。

判定時間を 0.0 秒に設定すると、入力検出後、直ちにメールを送信します。

経過時間を 0.0 秒に設定し通報用のメールが登録されている場合は、入力検出後、直ちに登録されているメールを送信します。

復帰判定時間経過後の入力の検出禁止時間を設定します。



## ( 1 ) 入力 1 極性設定

入力 1 の検出極性を設定します。

Low (立下り検出, ノーマルオープン接続)

High (立ち上がり検出, ノーマルクローズ接続)

## ( 2 ) 入力 1 検出禁止時間設定

入力 1 の検出禁止時間 ( T 0 ) を設定します。

設定しない

0.1 秒～59.9 秒

1 分 00 秒～59 分 59 秒

1 時間 00 分～23 時間 59 分

1 日 00 時間～45 日 12 時間

## ( 3 ) 入力 1 注意判定時間設定

入力 1 の注意判定時間 ( T 1 ) を設定します。

設定しない  
 待ち時間なし  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒  
 1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分  
 1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 3 ) 入力 1 注意出力設定

入力 1 の注意出力を設定します。

出力なし  
 出力

## ( 4 ) 入力 1 注意出力時間設定

入力 1 の注意出力時間 ( T 2 ) を設定します。

警報解除まで  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒       .  秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒       分  秒  
 1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分       時間  分

## ( 5 ) 入力 1 警報 1 判定時間設定

入力 1 の警報 1 判定時間 ( T 3 ) を設定します。

設定しない  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒  
 1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分  
 1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 6 ) 入力 1 警報 1 出力設定

入力 1 の警報 1 出力を設定します。

出力なし  
 出力

## ( 7 ) 入力 1 警報 1 出力時間設定

入力 1 の警報 1 出力時間 ( T 4 ) を設定します。

警報解除まで  
 0.1 秒 ~ 59.9 秒       .  秒  
 1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒       分  秒  
 1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分       時間  分

## ( 8 ) 入力 1 警報 2 判定時間設定

入力 1 の警報 2 判定時間 ( T 5 ) を設定します。

設定しない

0.1 秒 ~ 59.9 秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分

1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 9 ) 入力 1 警報 2 出力設定

入力 1 の警報 2 出力を設定します。

出力なし

出力

## ( 1 0 ) 入力 1 警報 2 出力時間設定

入力 1 の警報 2 出力時間 ( T 6 ) を設定します。

警報解除まで

0.1 秒 ~ 59.9 秒

.秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

分秒

1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分

時間分

## ( 1 1 ) 入力 1 復帰定時間設定

入力 1 の復帰判定時間 ( T 7 ) を設定します。

待ち時間なし

0.1 秒 ~ 59.9 秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

1 時間 00 分 ~ 23 時間 59 分

1 日 00 時間 ~ 45 日 12 時間

## ( 1 2 ) 入力 1 復帰出力設定

入力 1 の復帰出力を設定します。

出力なし

出力

## ( 1 3 ) 入力 1 復帰出力時間設定

入力 1 の復帰出力時間 ( T 8 ) を設定します。

0.1 秒 ~ 59.9 秒

.秒

1 分 00 秒 ~ 59 分 59 秒

分秒

1 時間 00 分 ~ 1 時間 08 分

時間分